

建築学部 | 年生の皆さんへ

皆さんが4月3日に大学に集まってから約20日が過ぎようとしています。めまぐるしい状況の変化に皆さんも翻弄され、戸惑い、不安も募る一方かと思えます。せっかく大学に入学したのに、入学したことすら実感できないまま、今日に至っていることでしょう。

次から次へと送られるメール等の情報配信に戸惑い、また、27日から授業開始と言われても、なかなか実感も湧かないことでしょう。私たち教職員も同様です。誰もが経験したことのない状況です。そのような中でも、皆さんに対してしっかりとした建築教育をしたいと、その思いをより一層強くしながら、その準備にあたっています。ご理解いただければと思います。

さて、皆さんは本学の建築学部1期生です。135名の定員に対して161名もの新入生を迎えることができました。建築学科としては55回目の入学生となります。全国で6番目となる本学建築学部建築学科に入学し、これから建築学を学ぶことを誇りに思ってください。本来であれば、オリエンテーション期間中の諸行事を通して、皆さんの入学を盛大に祝福し、皆さんとともに本学科の新しい時代をつくっていくという強い思いを共有したかったところです。

私たちは皆さんを迎え入れるため、10年かけて準備をしてきました。建築学部を誕生させる、ということは決して容易なことではありませんでした。大学内の多くの教職員と長い時間をかけて議論しました。卒業生や社会・企業の皆さんにも説明し、ご理解をいただきながら、また大きな応援をいただいて進めてきました。2年前に国(文部科学省)に建築学部設置のための届けを出しました。昨年夏に無事受理され、設置が決まりました。そうして2020年4月を迎え、皆さんが入学されたわけです。

その建築学部に入ってくれた皆さんを、両手を広げて歓迎したい気持ちは、私たち教職員にとって言い表せないくらいのものである、ということを知っておいて欲しいと思います。

だからこそ、このようなスタートになったこと、私たちも残念ですし、皆さんもそれ以上の思いだと察します。しかし、大学で学ぶ時間は4年間。とても長い道のりです。必ずその時間は取り戻せると確信していますし、そのつもりで私たちは教育にあたります。皆さんへの教育が疎かになることは一切ありません。安心して下さい。私たちが皆さんにしていこうとしている建築教育はとても厳しいものです。どの学科での学びと比べても厳しいものと思います。しかし、そこには愛もあります。社会に出てから必要とされる力、建築の世界で十分やっていける知識・技術を身につけ、そして人間的な魅力を備えた大人に成長してほしいと願って教育をします。ひとり一人の個性を引き出し、可能性を高めるような、そんな教育をしていきたいと考えています。皆さん自身の努力も不可欠です。全力で学んで下さい。大学生活を楽しんで下さい。

さて、余談になりますが、私は建築計画（施設計画）という分野が専門です。近年、その分野で（また私自身の研究で）求めてきたことは、「居心地のよい場所（空間）づくり」、「コミュニケーションを大切にした関係性とそれを促す空間」、さらには「人と人との関係性をより豊かにし、人・地域・社会とのつながりを生み出すようなコミュニティーや空間の創造」です。

新型コロナウイルス感染症でもたらされている今の状況は、それら全てを困難とする（場合によっては否定するような）事態です。家から出られず、街や地域にある居心地のいい場所で過ごすこともできません。人と会って直接話すことすら難しい状況です。そんな状況の中では、人が暮らす「家」、今その人がいる環境・状況そのものを豊かにする（つくる）、という建築の原点とも言える思考の重要性も再確認させられます。直接的に会ってコミュニケーションとらなくても、人と人・地域・社会とが心で繋がりが合い、互いの存在を感じられるような空間や社会のあり方はどのようにあべきか、そんなことを考えずにはいられません。建築側から考えられること、考えるべきことは決して少なくありません。

私たちが抱く、また社会で共有する物事の価値感も大きく変化してくることが考えられます。そのような中で建築が目指すべき姿も変化していくかもしれま

せん。まさにこれからの建築のあり方を考えることを突きつけられています。私にも答えは分かりません。皆さんに課せられた使命は、そのような社会の中での建築のあり方を学び、将来、社会に出て実践することだと思います。とても大きなテーマですが、これから建築を学ぶものは、おそらく避けて通ることはできない課題となるでしょう。皆さんと一緒に追求していきたいと思います。皆さん自身、これからの社会や未来の人の暮らしを大きく想像しながら、建築を学んでいって下さい。

友だちが欲しい、仲間と会いたい、大学に来たい・・・皆さんが今抱いている強く、切実な思いだと思います。私たちも皆さんの顔を直接見て授業がしたいですし、話もしたいです。普段であれば当たり前に出て来そうなことが、実は当たり前なことではない、ということであらためて実感し、何気ない普通の時間が、いかに奇跡的で貴重なものであるかを思い知らされます。

そんな奇跡の時間を取り戻すため、まずは自身の、そして家族の健康を守るために努力しましょう。その中で行われる遠隔授業ですが、一生懸命学んで下さい。家にいても学ぶことはできます。仲間をつくり、顔を合わせ、時間をともに過ごすことは、先の楽しみとして残しておきましょう。パソコンやスマホの向こうに、同じ授業を聴いて学んでいる自分以外の160人の他の仲間がいることを忘れないで下さい。

いずれ、皆さんと大学の教室でお会いできることを心から楽しみにしています。あらためて、東北工業大学建築学部への入学おめでとうございます。4年間、どうぞよろしく申し上げます。

2020年4月22日

建築学部長・建築学科長 石井 敏
建築学科教職員一同